

最終報告書の詳細

インターン先

村林聡議員事務所インターン生

所属

三重大学 2年

1. 自分が目にした議員の想い

1. 説明文

「議員が大事にしている価値観や理念」「どのような想いに基づいて議員は活動しているのか」といった議員の人となりについて自分なりに振り返りましょう。また、「議員自身から何を感じ、何を学んだか」を振り返りましょう。

【項目の狙い】

議員インターンシップの一番の特徴は、「議員や議員を支える方々と出会えること」です。議員は、地域や日本をよりよくするために行動している方々です。

私たちドットジェイピーは、「自らを変え、世の中を変えていく人」を JAPAN PRODUCER を呼んでいます。議員はその象徴であると考えています。議員の軸や想いを考えることで、自分自身の生き方や、価値観をさらに醸成する狙いがあります。

1. 記述欄

インターンシップを通じて、議員からは南伊勢などの過疎地域を救いたいという強い想いを感じた。議員が今まで行ってきた主な活動を聴いて、それまではどの議員もやってこなかった獣害への対策を議会で提案するなど、過疎を止めるという目的に向かって必死に活動していることがわかった。また、事務所に来た地域の人たちに対して丁寧に対応し、一つ一つの要望をルーズリーフに記入し、ファイリングしている姿を見て、地域の人たちの想いも非常に大切にしていると感じることができた。また、議員活動費などの計算に関しても、想像していたよりもかなり細かくしており、不正を絶対にしない、という誠実さを感じることができ、今まで自分が考えていた議員像を大きく変えた。

2. 自分自身の振り返り

2. 説明文

自分が思い描いたなりたい姿に近づくことができましたか？ 近づけたのなら、今後新たになりたい姿を見つけた時、達成する秘訣はないでしょうか？ 近づけなかったのなら、いつ何をしていれば近づけたと思いますか？

今後自分が出会う様々な出来事に備えて、今回の取り組みを振り返りましょう。

1. 以下の3つについて、具体的に記入しましょう。

なりたい姿/身に付けたい力/達成計画

2. 上に書いた3つの振り返りを行いましょ。

■達成計画を踏まえた身に付けたい力の習得率とその理由

評価（習得率の%を記入）と理由を含め反省事項を記入しましょう。

■なりたい姿に近づけたかどうか

評価（達成度の%を記入）と理由を含め反省事項を記入しましょう。

3. インターンシップ参加前と今の自分の変化

2. 記述欄

1. なりたい姿 様々な人と関わりを持って、自分の考えをわかりやすく伝える

身につけたい力 発信力

達成目標 多くの人と名刺交換をする、元気よく挨拶する、議員に積極的に質問する、小規模高校の関係者から話を伺う

2. 達成率 60% 理由 議員に多く質問することができ、自分の疑問点を伝えることはできたが、その質問の仕方が悪く、わかりやすく伝えることができないこともあったため。

達成率 60% 理由 事務所で地域の方と会ったり、高校の校長先生や教頭先生と話す議会をもらったり、企業訪問や支持者訪問もさせてもらい、多くの人と関わりを持てたから。その一方で、全ての人と十分にやりとりすることはできなかったから。

3. 知らない人と関わることについて、今まではかなり苦痛なことと思っていたが、活動を通して少し慣れることができた。

3. あなたにとって議員インターンシップとは

3. 説明文

人生、大学生活において議員インターンシップは自分にとってどのような経験だったのか。インターンシップ活動で、何を学び、何を考え、どのように行動をしたのか。

そして、今後生活していく上で、インターンシップの経験をどのように繋げるかを考えましょう。

【この項目の狙い】

何事も、ただただ経験するだけでは学びが最大化されません。

大切なのは、自分が経験したことを振り返る(内省する)ことです。

自分の言葉で、議員インターンシップ全体を総合的に振り返ることを狙いとしています。

3. 記述欄

議員インターンシップの活動を通して、今まで知らなかった県議会議員の仕事を知ることができた。議会や委員会の傍聴を通して、議員によって色々な考え方を持っていることがわかり、視野を広げることができた。また、議会に行ったときや、企業訪問をした際に、今までだったら関わるることができないような方々に会い、名刺交換を行ったり、話を伺えたことも貴重な経験となった。受け入れ先の議員からも、政治のことや地域のことを聞くことができ、また、質問にも多く答えてもらって、より深く理解することができた。

様々な立場の人がそれぞれどのような考えを持っているのかがわかったため、これからは何かニュースを見るときにも自分からの視点だけではなく、色々な立場からの視点で見たいと思う。また、大人の人と多く会えたことは、これから社会に出ていくに当たって貴重な体験となった。

4. もしインターンシップ先の地域でプロジェクトを行うことになったらどんなことをしたいか

4. 説明文

インターンシップを通して様々なことを学び、発見があったと思います。

もしインターンシップに行った先で新しいことを始めるとしたら、どんなことがしたいですか？

この「プロジェクト」というのは、政策でもイベントでも特産品に関することでも、何でもOKです。

皆さんの自由な発想で考えてみてください。

4. 記述欄

農業・漁業を行う人口を増やしていく政策が必要である。まず、地域の子供たちには、小さい頃から農業や漁業に慣れ親しんでもらうために、保育園から高校まで定期的に農業、漁業

体験を行う機会を作る。また、農業・漁業の短所として、天候に左右されやすく、収入が安定しないことが挙げられる。そのため、南伊勢町独自の農業・漁業保険制度を作る。また、一次産業は体を使うため、きついというイメージも大きい。そのため、作業を手助けするような機械を導入していき、体力に自信のない人にも興味を持ってもらえるようにする。また、儲けを多くするためにも、海外への輸出をさらに積極的に行っていくべきである。品質の高さをアピールしていけば、富裕層向けとして高額で販売できると考えられる。